

市立小中学校の規模適正化・適正配置に関する説明会概要（日向小学校）

期 日：平成 27 年 9 月 17 日 11 時 30 分～12 時 10 分（オープンスクールの間）

場 所：日向小学校 体育館

参加者：日向小保護者 約 70 名、校長・教頭

【意見内容と回答】

◎男性

私の場合は、色々なところから情報が入ってまして、大体のことは分かっていた。私の娘は6年生ですが、入学したときから山武西小の児童数はそのころから少なかった。なぜ、ああいう少ないところを日向小と統合しないのかというのは昔からあった。山武西小の子ども達も日向小に来たいという話は聞いていた。この統合に関してはいいのではないかと私は思っている。東金の源小学校に通っている保護者に知り合いがいて、東金まで出るのは遠いので日向小に行きたいと、中学校は山武南中に行きたいと。小学校の基準としてどのくらいの通学範囲がいいのか。距離を求めて学区をはずした方が効果があるのではないかと。自分の市がどうのこうのではなく、小学校を中心に考えたらどうか。

○指導室長

山武市は、学区外から通っているお子さんはおり、山武市と東金市の教育委員会で協議をする形となる。源小を卒業する子は、山武南中に通っているお子さんが多い。その分、逆に山武市から他の市町に通っている子もいる。それぞれの教育委員会の中で、保護者の申請により、今現在でも行っている。統廃合後も同様に行うことができる。市内の就学指定校変更についても、通学距離等により弾力的に運用している。

○教育総務課長

今回、二つの学校を一つに統合する案を提案している関係で、従来の通学距離よりも遠くなるという方が出てくる。これを補完する方法として、統合するという方向性の中では、スクールバスを運行し通学の足を確保する。スクールバスに関しては、実際に統合する方向性がはっきりした時点で、統合準備委員会等を設置し、保護者、学校、地域の方等でどういう運行をしたら一番いいのかという話し合いをしながら、準備をしていくことになる。